

南九州短期大学

『留学コース通信』

平成 30 年 1 月 10 日
第 16 号
文責：水島孝司
(留学コースアドバイザー)
学校電話 0985-83-2100

こんにちは。この通信は、海外留学や異文化理解・交流に興味のある高校生の皆さんに、南九州短期大学の留学コースについてより良く知ってもらいたいとの願いから発行するものです。第 16 号では、昨年 9 月から今年 3 月までの予定でエドモンズ・コミュニティカレッジ (EdCC) での単位認定留学に参加している留学コース 1 年生の学生たちに、現地での秋学期授業の成果などについて教えてもらいます。

Q: 秋学期の授業を通して、どのような成長や発見がありましたか。

A: 神屋沙奈さんに答えてもらいます。

9 月から 12 月までの秋学期には Speaking & Listening, Writing, Reading, Grammar の 4 つの授業を毎日受講しました。授業全体を通して学んだのは「正しい答えを発表することよりも、自分の考えを発表することのほうが大事だ」ということです。学期の最初の頃は、頭の中に自分の答えが浮かんでいても「間違っていたら恥ずかしい」という思いがあり、なかなか発言できずにいました。しかし、すべての先生が“Don't be afraid of making mistakes.”（間違いを恐れちゃダメよ）とか “We all make mistakes and we learn from them.”（人はみんな間違い、そしてその間違いから学んでいくのよ）と言っていました。さらに、間違った答えやみんなが言わない意見を言った時には、逆に褒めてもらえることもありました。ですから、今では自分の意見に自信がなくても、積極的に発言できるよう

写真

- p.1 左 EdCC のキャンパス
- p.1 右 EdCC Bookstore の教科書売り場
- p.2 左 EdCC のカフェテリア
- p.2 右 Edmonds Beach (EdCC から車で 10 分ほどのところにある)



になりました。

以下には、秋学期に受講した個々の授業で学んだことや成果について述べたいと思います。まず、Writing のクラスについてです。私は留学する前は、英語で文章を書くことに強い苦手意識を持っていました。しかし、EdCC の授業では、先生から文章を構成する手順やコツ、ルールなどを一から分かりやすく教えてもらえたので、今では 1 つのお題につき 130 字程度の文章を 50 分くらいで書くことができます。また、opinion paragraphs や process paragraphs など様々な種類の文章の書き方を習うことができたので、とても力がついたと思います。

Speaking & Listening の授業では、学生同士でお互いの出身国について話し合う機会が何回ありました。私のクラスには韓国、中国、ベトナム、モンゴル、フランス出身の学生がいたのですが、彼らと環境問題や自分の hometown の改善すべき点、恋人とのデートや結婚についてのルールなどについて比較し合いました。様々な国の文化について知ることができたので、視野が広がったと思います。

Q: 秋学期の授業の中で、楽しかった活動について教えてください。

A: 佐々木美穂さんに答えてもらいます。

Reading のクラスでは授業内容に関するゲームを時々行いましたが、特に楽しかったのは単語を覚えるためのゲームです。以下に、このゲームについて紹介します。

これはチーム対抗戦のゲームで、まず 13 人から成るクラスが 2 チームに分かれ、全員が教室の後ろに立ちます。そして、各チームから一人ずつ回答者が選ばれ、その人が一步前に出ます。次に先生が単語の意味を英語で説明します（例えば receive という単語の場合、get something that someone gives to you という説明になります）。答えが分かったら素早くホワイトボードに答えを書き、相手チームより先に正しい答えを書くことができたら、自分のチームにポイントが入ります。また、チームメートは後ろから答えを教えることができるので、“Receive!!! R! E! C! E! I! V! E!”といったようにみんなの声で授業がとても盛り上がります。

ゲームをすることで単語が頭に入りやすいだけでなく、クラスメートとの仲も深まるので大変良い活動だと思います。他にも学生が退屈しないように、先生が工夫して様々な活動を取り入れてくださったので授業がとても楽しかったです。

